

きよく どう

なん

かい

# 旭堂南海の

# 講演 小牧長久手の戦い

小牧長久手の戦いにかかわる講演を2席たっぷりお届けします。

家康VS秀吉、戦国時代ただ一度の竜虎の戦いが、今よみがえります。

演者は、ウィーンの世界でも講演を披露した上方講演の雄、旭堂南海さんです。どうぞおききのがしなく！

平成23年

10月29日 (土)

午後2時開演

開場午後1時30分

会場

犬山市国際観光センター

フロイデ 2階研修室

(名鉄犬山駅東口から、東へ徒歩3分。駐車場あり)

木戸銭

全自由席

前売り 1,000円

当日 1,100円

チケットの前売りは、青塚古墳ガイドダンス施設「まほらの館」および、「ニワ里ねっと」主催の各イベント会場で行います。また、メール・ファックスでもご予約承ります(当日前売り料金にて清算)。「講演予約」として、お名前・人数・連絡先を次のメール・ファックスにお知らせください。

メール sigakuzaza@niwasato.net

ファックス 0568-61-0093

旭堂南海

(きよくどう なんかい)

一九六四年生まれ。兵庫県加古川市出身。大阪大学文学部卒業。一九八九年三代目旭堂南庵に入門。一九九六年度「大阪府舞台芸術新人」に指定。一九九七年度「咲くやこの花賞」(大阪市)受賞。一九九七年から現在に至るまで、毎月一人での続き読み講演会を開催。二〇一〇年春には一五〇回の節目を迎えた。二〇〇九年五月、加古川観光大使に任命される。二〇一〇年一月、オーストリア政府の招きによりウィーン大学と王宮にて講演を披露。

主催 古代通波の里・文化遺産ネットワーク

NPO法人

http://niwasato.net